

次頁より、各カテゴリー別にデータの詳細結果をご紹介します

- カテゴリー 「経済」…3P～5P
- カテゴリー 「職場と家庭の喫煙事情」…6P～7P
- カテゴリー 「男女間の意識」…8P～9P
- カテゴリー 「喫煙者と禁煙成功者の傾向」…10P

WEB サイト『のほほん禁煙ラボ』概要、問い合わせ先…11P

【調査概要】

調査手法： インターネット調査

調査対象エリア： 全国

調査実施時期： 2008年10月2日(木)～4日(土)

調査対象者： 20、30、40歳代の男女900人

現在、喫煙習慣のある男性/20、30、40歳代各世代100人ずつの計300人(既婚、未婚問わず)

過去、喫煙習慣があったが、半年以上喫煙していない非喫煙男性=禁煙成功者

/20、30、40歳代各世代100人ずつ計300人(既婚、未婚問わず)

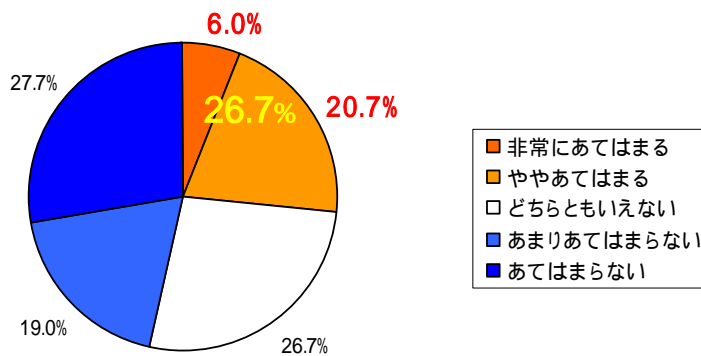
夫が喫煙者である、非喫煙の主婦/20、30、40歳代から計150人

非喫煙の未婚OL/20、30歳代から計150人

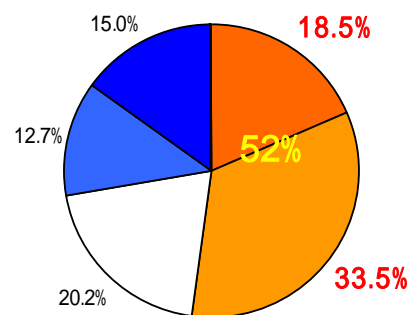
景気悪化、物価上昇が世の中の禁煙ムードをさらに促進

「最近の物価上昇で、タバコを吸う本数が減った」と感じている喫煙男性は 26.7%（「非常に当てはまる」6%、「やや当てはまる」20.7%の合計）と全体の4分の1、「最近、家計のために禁煙を検討している」と答えた既婚の喫煙男性は52%（「非常に当てはまる」18.5%、「やや当てはまる」33.5%の合計）と過半数を占め、喫煙者たちのタバコの消費に関する意識が変わり始め、世の中の禁煙化がさらに高まる傾向を示す結果となりました。（図1、2参照）

Q:「最近の物価上昇で、タバコを吸う本数が減った」と感じている？ 対象 = 喫煙男性 300 人

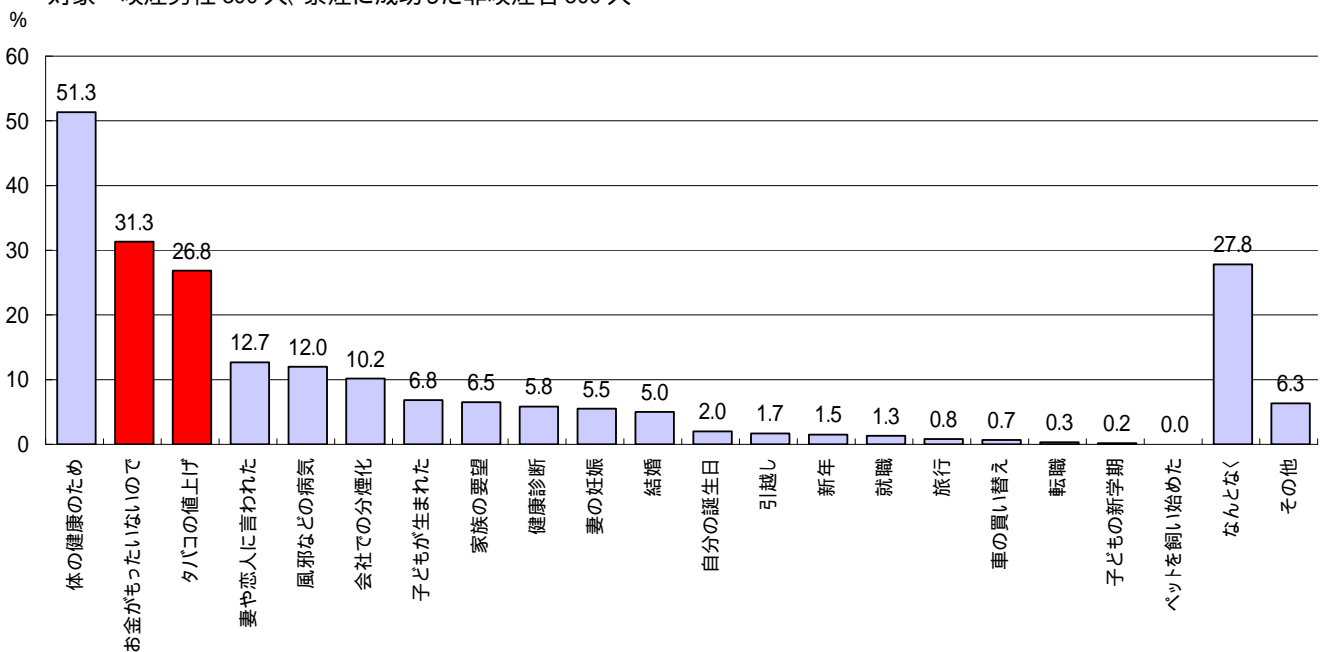


Q:最近、家計のために禁煙を検討している？ 対象 = 既婚の喫煙男性 173 人



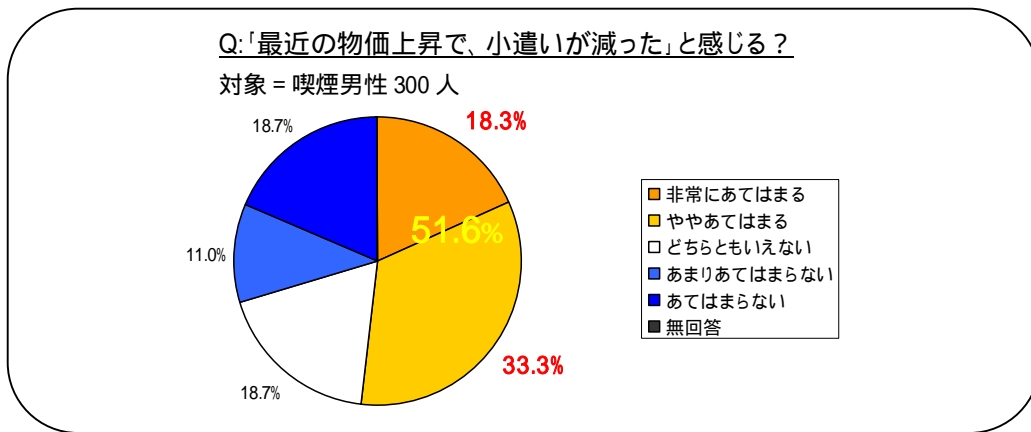
Q:あなたが禁煙しようと思ったきっかけは何ですか？

対象 = 喫煙男性 300 人、禁煙に成功した非喫煙者 300 人



喫煙によって金銭不足に陥る「スモークングブア」が増加！？

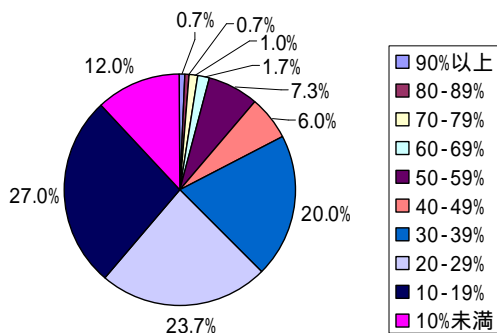
「最近の物価上昇で、小遣いが減った」と答えた喫煙男性は 300 人中 155 人で 51.6%（「非常に当てはまる」18.3%、「やや当てはまる」33.3%の合計）と全体の半数以上の大きな割合を占めました。



また「1か月の小遣いで、タバコ代の占める割合」では、3割以上と答えた人が全体の37.3%、さらに小遣いの半分以上がタバコ代に消えると答えた人も全体の 11.3%という結果もでており、タバコ代で金銭不足に陥る「スモークングブア」と呼べる人たちが増加していると感じさせます。ちなみに喫煙者に「1か月のタバコ代」を聞いたところ、全体の平均が 8910 円でした。

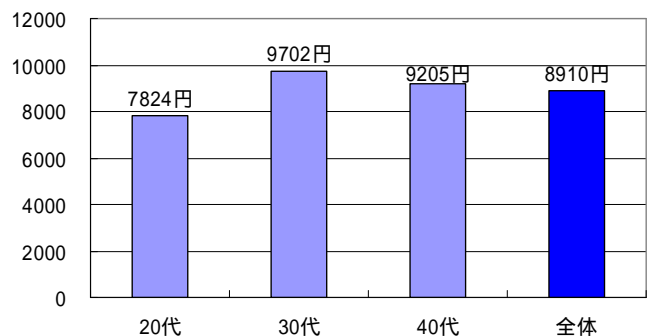
Q:一か月の小遣いで、タバコ代の占める割合(%)は？

対象 = 喫煙男性 300 人



Q:1か月のタバコ代はいくらくらいですか？

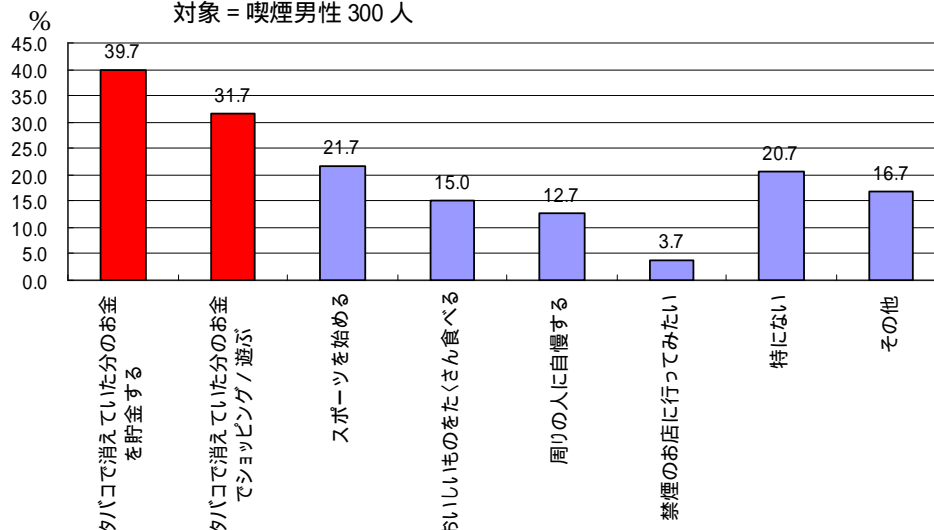
(グラフは平均値算出) 対象 = 喫煙男性 300 人



このほか「禁煙に成功したらやりたいことは？」の問いでは「タバコで消えていた分のお金を貯金する」という回答が 39.7%、「タバコで消えていた分のお金でショッピングする/遊ぶ」という回答が 31.7%となりお金を意識した解答が上位を占めました。

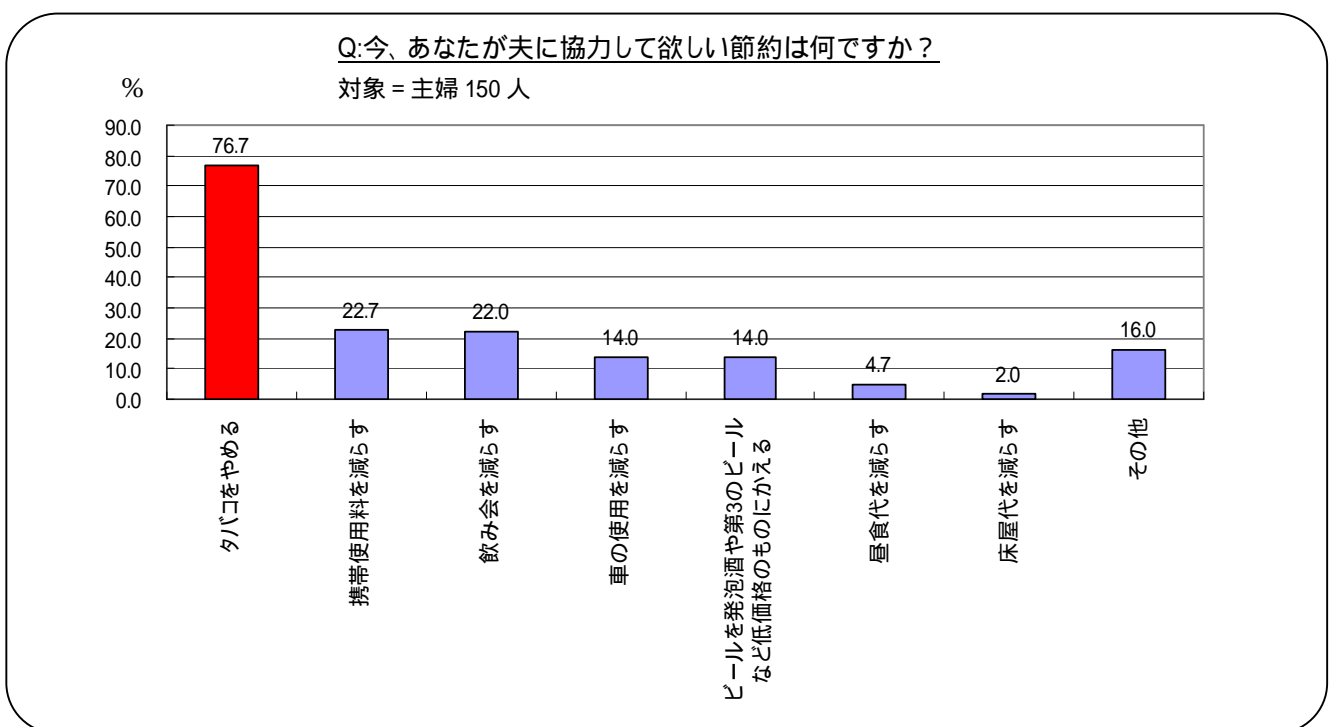
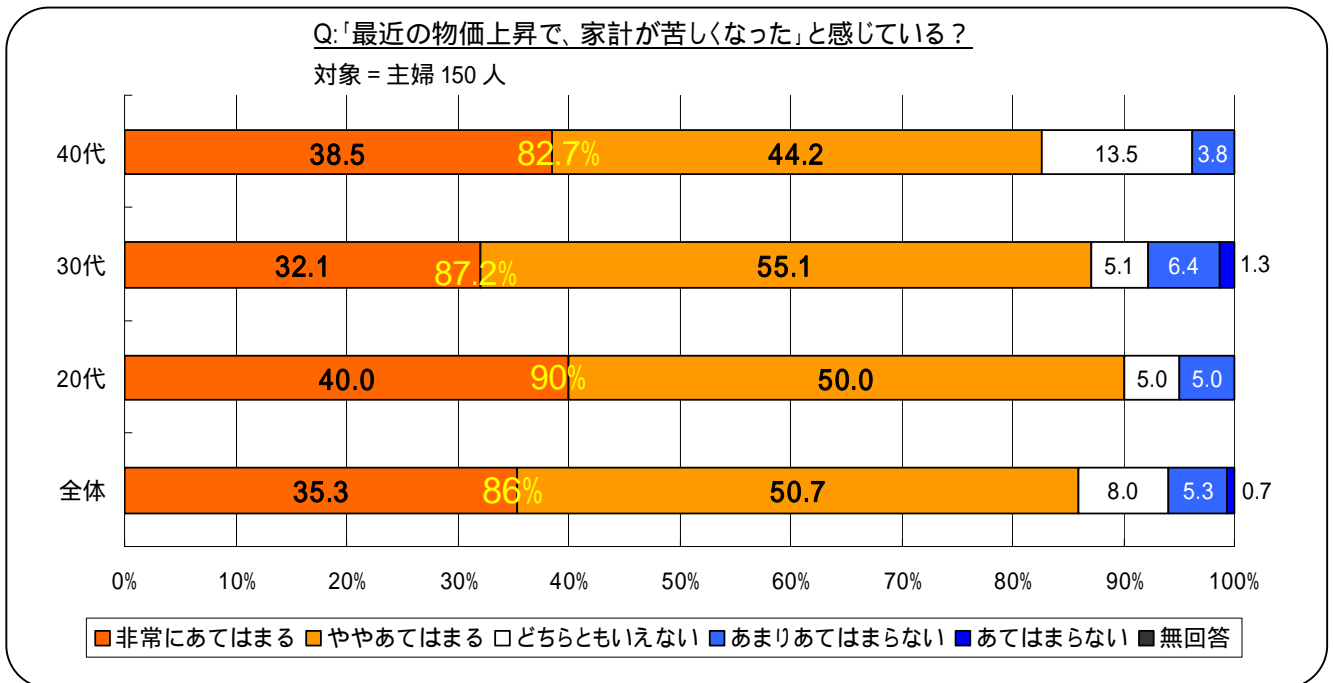
Q:禁煙に成功したらやりたいことがありますか？

対象 = 喫煙男性 300 人



節約ターゲットを夫のタバコ代としている主婦は 76.7%

景気の悪化、物価の上昇をうけて、主婦たちの節約のターゲットが夫のタバコ代に向けられていることもわかりました。「最近の物価上昇で家計が苦しくなった」と感じている主婦は 86%（「非常に当てはまる」35.3%、「やや当てはまる」50.7%の合計）とかなり高い数字で、さらに「今、あなたが夫に協力して欲しい節約は？」という質問に対しては、主婦たちが最も多く選んだ回答は「タバコをやめる」が 76.7%で、他の「携帯電話の使用料を減らす」（22.7%）、「飲み会を減らす」（22%）、「車の使用を減らす」（14%）に大差をつけて 1 位となりました。



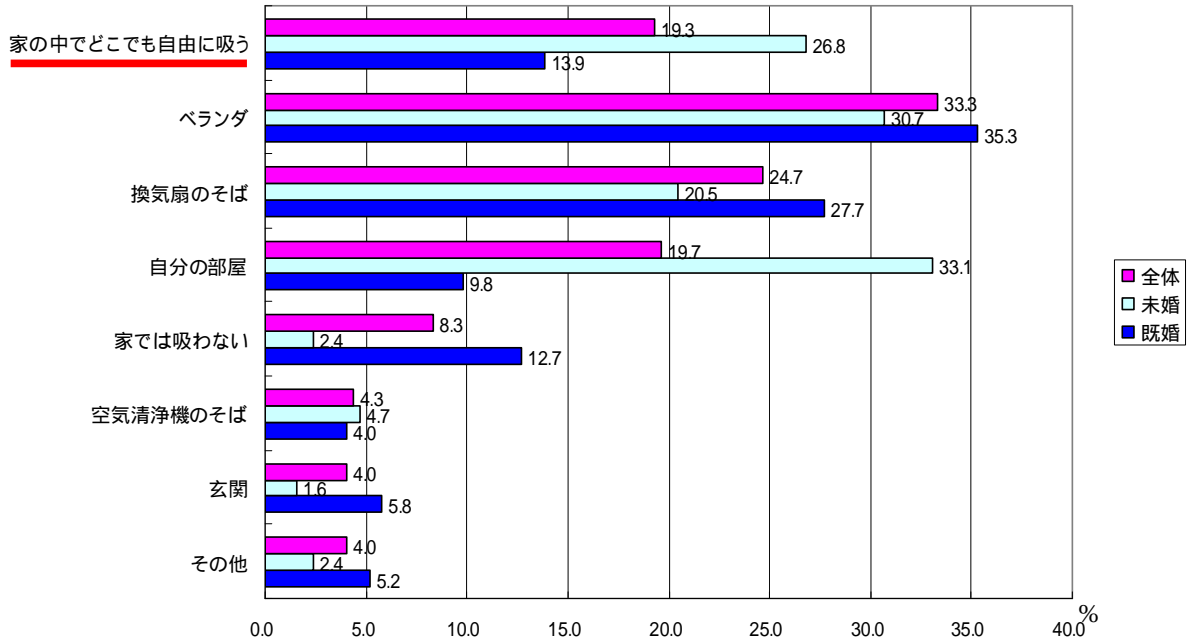
会社や家庭における最新喫煙・禁煙事情

600人の男性(喫煙者300人と非喫煙者300人)に職場の分煙状況を聞くと、「社内どこでも喫煙可能」が10.7%と依然残るものの、「禁煙が基本で喫煙スペースが別にある」答えた人が77.2%と大多数を占め、「全社禁煙」も12.2%いました。

家庭でも場所を選ばず喫煙するという人は少なく、今回の調査でも自宅で喫煙する場合、「家の中でどこでも吸う」と答えた人は19.3%で、逆にいうと8割以上の人が家庭内での喫煙に気を遣っていることがうかがえます。

Q:自宅で喫煙される場合、日頃どのような場所で喫煙することが多いですか？

対象 = 喫煙男性 300人(未婚 127人、既婚 173人)

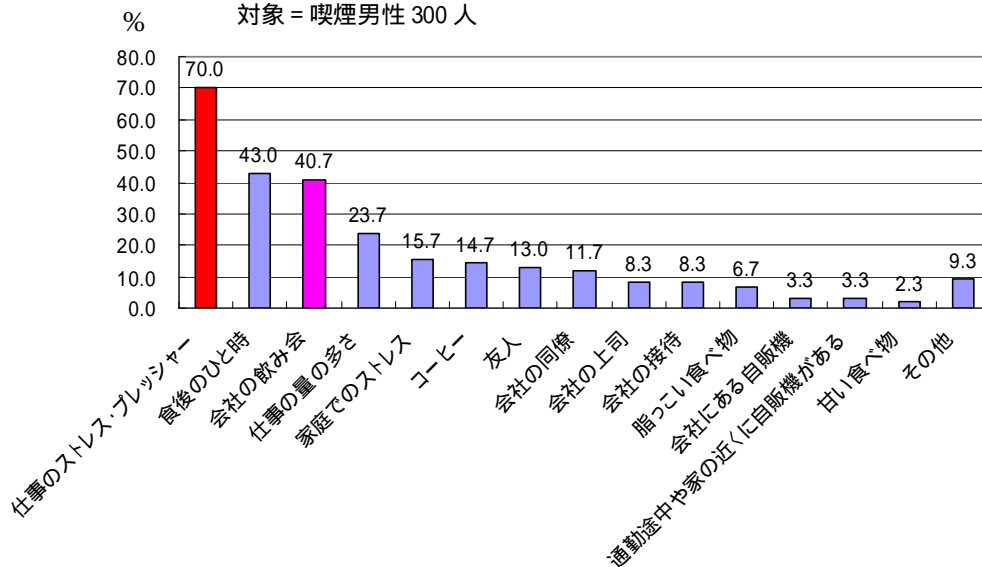


禁煙の敵は仕事とお酒(の席)

今回のアンケートから、喫煙習慣がある人にとって、禁煙を妨げるものが「仕事」だと感じている人がかなり多いこともわかりました。「あなたにとって禁煙の敵は何ですか？」という問いに対しては「仕事のストレス・プレッシャー」と答えた人が70%にのぼり、そのほか職場にある理由としては「会社の飲み会」40.7%と高い数字をだしました。

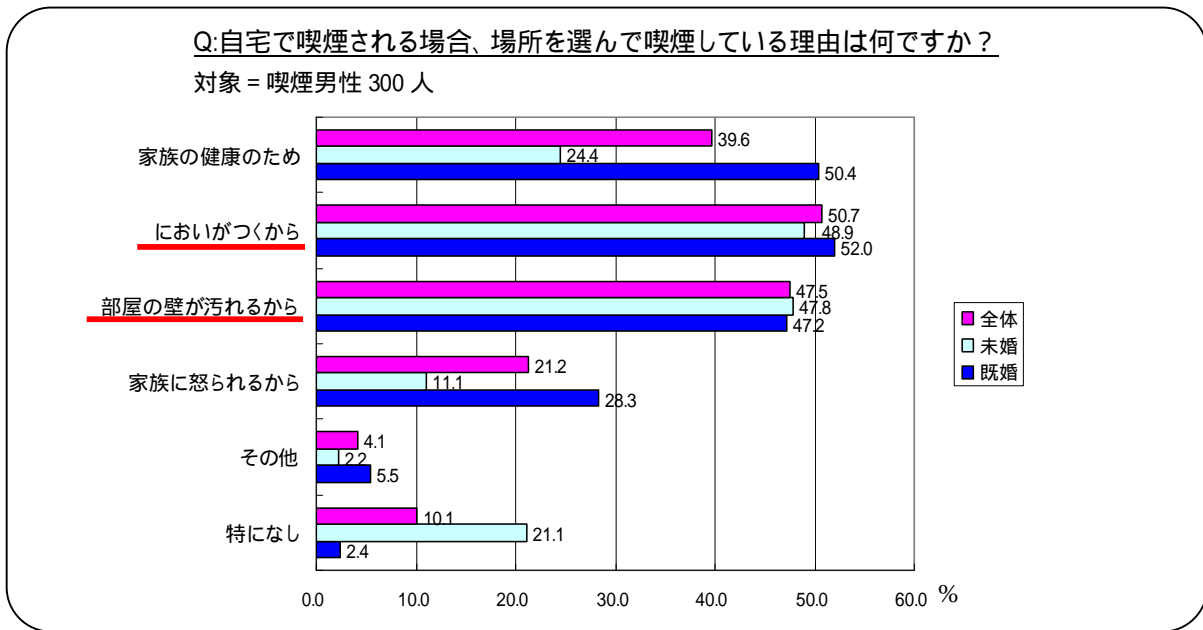
Q:あなたにとって禁煙の敵は何だと思いますか？

対象 = 喫煙男性 300人

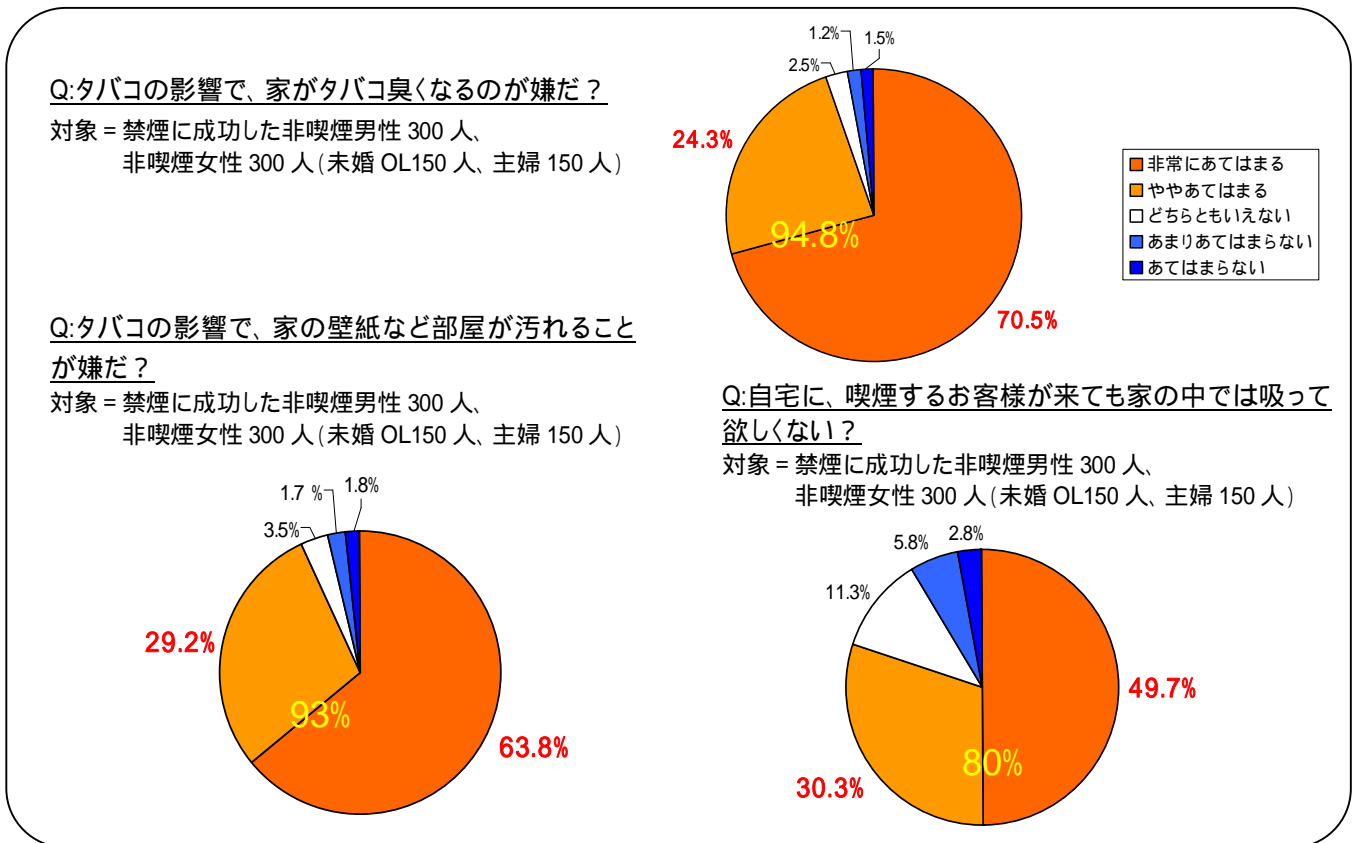


非喫煙者だけでなく、喫煙者自身もタバコによるにおいや汚れに敏感

既婚男性が「家の中で場所を選んで喫煙する」理由としては当然「家族の健康のため」が50.4%と半数を占めていますが、それと合わせて「においがつくから」が50.7%、「部屋の壁が汚れるから」が47.5%と高い回答となっており、喫煙者自身もタバコによるにおいや汚れに敏感であることがわかりました。



非喫煙者たちではさらにその意識が強く「タバコの影響で、家がタバコ臭くなるのが嫌だ」と答えた人は94.8%（「非常に当てはまる」70.5%、「やや当てはまる」24.3%の合計）にものぼり、80%（「非常に当てはまる」49.7%、「やや当てはまる」30.3%の合計）が「自宅に、喫煙するお客様が来ても家の中で吸って欲しくない」と回答しています。



また家だけではなく、車の中のおいについても、所有者の81.4%（喫煙者65.8%、非喫煙者96%）が「車の中がタバコ臭くなるのが嫌だ」と答えていました。

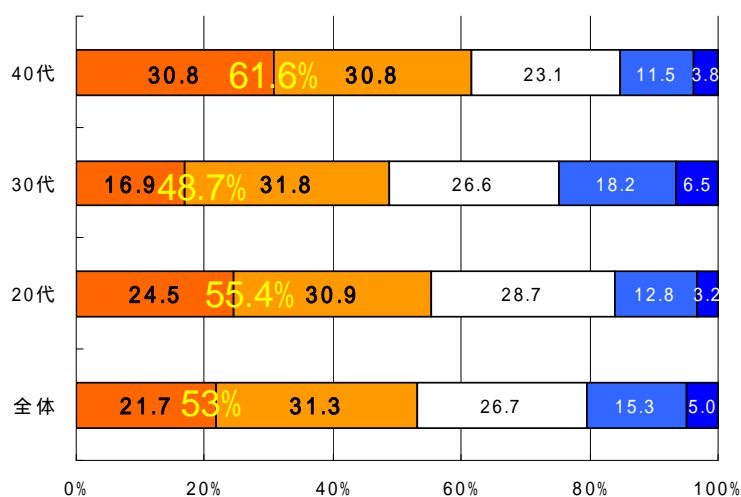
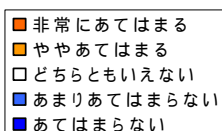
カテゴリー：男女間の意識

「付き合う(結婚する)人は、タバコを吸わない人が良い」と考える非喫煙女性 78%

非喫煙女性 300 人(未婚 OL150 人、主婦 150 人)に、タバコを吸う人に対する考え方を聞いたところ、「タバコを吸う人は好きではない」と答えた女性は 53%(「非常に当てはまる」21.7%、「やや当てはまる」31.3%の合計)と半数を超え、「タバコのない人が好きではない」と答えた女性は 72%(「非常に当てはまる」40.7%、「やや当てはまる」31.3%の合計)と、かなり高い数字となりました。また「もし新しく付き合う(結婚する)のならば、タバコを吸わない人が良い」と答えた女性は 78%(「非常に当てはまる」49%、「やや当てはまる」29%の合計)と、多くの女性が、恋愛、結婚においてタバコを吸う人を敬遠しがちな傾向があらわれているようです。

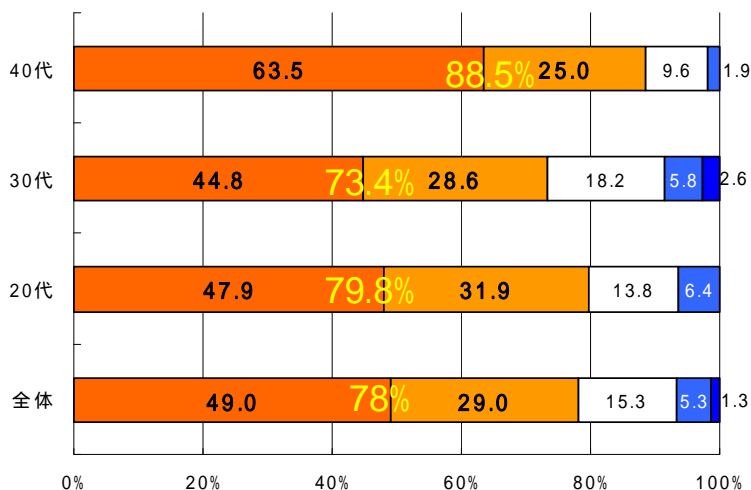
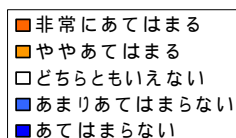
Q:タバコを吸う人は好きではない?

対象 = 非喫煙女性 300 人
(未婚 OL150 人、主婦 150 人)



Q:もし新しく付き合う(結婚する)のならば、タバコを吸わない人が良い?

対象 = 非喫煙女性 300 人
(未婚 OL150 人、主婦 150 人)



女性に嫌われる男性のにおいベスト5は?

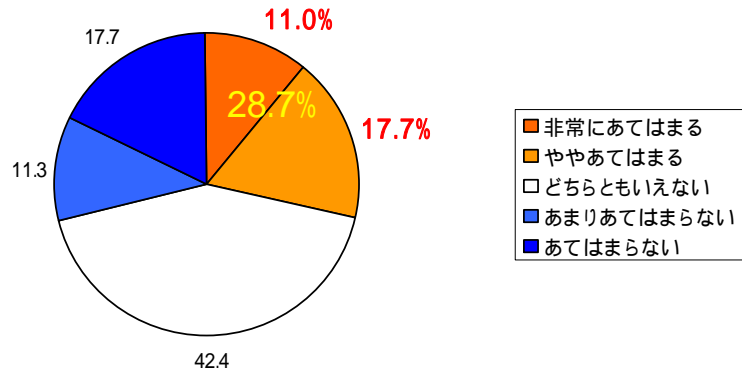
非喫煙の女性 300 人(主婦 150 人、未婚 OL150 人)に「男性のにおいで、あなたが不快に思うのは何ですか?」と尋ねたところ、ベスト5は、1位「口臭」(88%)、2位「体臭」(80.3%)、3位「タバコ」(77.3%)、4位「加齢臭」(74.3%)、5位「足」(67.7%)の順番でした。

「付き合う(結婚する)人は、タバコを吸わない人が良い」と考える非喫煙男性 80%

非喫煙男性においても、女性ほどではないものの、タバコを敬遠する傾向がみられました。「タバコを吸う人は好きではない」が28.7%（「非常に当てはまる」11%、「やや当てはまる」17.7%の合計）、「タバコのおいにする人は、好きではない」が57%（「非常に当てはまる」21.3%、「やや当てはまる」35.7%の合計）で、「もし新しく付き合う(結婚する)のならば、タバコを吸わない人が良い」と答えた非喫煙男性は80%（「非常に当てはまる」58.7%、「やや当てはまる」21.3%の合計）と女性よりも高い数字となりました。

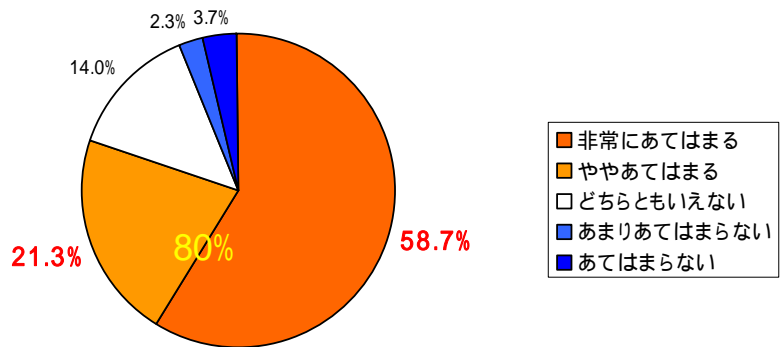
Q:タバコを吸う人は好きではない?

対象 = 禁煙に成功した非喫煙男性 300 人



Q:もし新しく付き合う(結婚する)のなら、タバコを吸わない人が良い?

対象 = 禁煙に成功した非喫煙男性 300 人



カテゴリー 喫煙者と禁煙成功者

今回の調査結果で、喫煙者 300 人と禁煙成功者 300 人の回答を比較したとき、禁煙に成功する人、失敗する人の傾向がいくつかみてとれました。

「あなたは禁煙成功の自信がありますか？または、既に禁煙に成功されている方は自信がありましたか？」という質問では、「できると思う/思っていた」と答えた喫煙者が 18%だったのに対し、禁煙成功者は 51.7%と大きく差がひらきました。また「多分できると思う/思っていた」を含めると、喫煙者 54.3%に対し、禁煙成功者は 81.7%にものぼります。

禁煙に成功している人は、禁煙に対して自信を持っていた人がかなり多く、それと比べ、明確な自信を持っている喫煙者は少ないようです。

「今までに禁煙にトライした回数？」を禁煙成功者に聞くと、「1 回目」が 43%と最も多く、「2～3 回目」が 38.7%、「4～5 回目」が 11.7%と、回数が上がるにつれて、逆に成功率は下がっています。

禁煙に成功する人は、何度も禁煙を試みるのではなく、より少ないトライ回数で成功しているようです。

「これまで最長どれくらいの期間、禁煙に成功しましたか？」と喫煙者に質問したところ、「1 年未満」が 56.7%と最も多く、「1 年以上」が 19%、「3 年以上」が 2.7%、「5 年以上」が 1.3%と、期間が伸びるにともない、逆に人数は下がっています。

「1 年以上」になると、再度喫煙する人はかなり少なくなり、禁煙できた期間が長ければ長いほど、禁煙に成功する確率は高いようです。

「何歳で禁煙しましたか？」を禁煙成功者に聞くと、全体の平均は 30.8 歳で、40 歳代で禁煙に成功したという人は全体の 15.5%でした。

年齢を重ねてからよりも、どちらかというとならうちに禁煙する人のほうが多いようです。

調査データや禁煙をテーマにしたコンテンツは、

スペシャル Web マガジン『のほほん禁煙ラボ』 <http://kin-en.jp> へ

2008年11月10日、禁煙する方々を応援するWEBマガジン「のほほん禁煙ラボ」がオープン致します。禁煙は自分との孤独な戦い…。だからこそ、一緒に応援してくれる存在は心強いもの。そんな禁煙に励む方々のために、「禁煙博士」と「助手ノンちゃん」というチャーミングなナビゲーターのもと、楽しいコンテンツをご用意致しました。

本リリースの内容はもちろんのこと、喫煙者プロガー達が禁煙にチャレンジする模様を実況中継する「輝け！禁煙サバイバー」や、ネット界のカリスマ「ヨシダプロ」を道場主に迎え禁煙ネタにズバツと斬り込む「禁煙！メガネ侍」、他にもお役立ちコラムやマンガコーナーなど、情報盛りだくさんです。是非、「のほほん禁煙ラボ」にアクセスしてください。



トップページイメージ(仮)



禁煙博士

助手ノンちゃん